

11月14日一步の会の感想

K・I (中学生男子母。2025年11月記)

子どもの成長というところでは言語化が難しいのですが、今週、Rが鼻歌を歌っている感じが何度かありました。以前、(アサヒキャンプ名古屋の)ヘイホーが「マイスペースに毎月来たら？」と声をかけてくれた時から土曜日の行事参加を増やしていればとも思いますが、調子がよくなければ鼻歌はないかなとも思ったりして、今はとてもありがたいです。

「楽習会」「マイスペース」「マイスペースミニ」、円堂&サー太グループのひだまりキャンプもRは、楽しみにしています。

(11月14日の)一步の会の動画「サリエンスネットワーク」(脳のネットワーク)は、はじめて聞いた言葉で、わかりやすい動画でしたが、まだまだ理解の入り口です。可能であればまたお願いしたいテーマです。

一步の会の感想としては、ずれているかもしれませんが、こだわり、決断(トライ&エラー)、相談、学習、生活(食事、準備等)、よい時もそうでない時も、すべて切り替えなのかなと思いました。

(一步の会で)切り替えがうまく行くような要素を取り入れる動画視聴、書くことや発表、意見を頂くことで考えがまとまる、おしゃべりをする、すっきりする、他の方がうまく行っていることを喜び、困っていることに思いを寄せる。

他の方の発表等を子どもや自分に当てはめて考える。見直すべき点を考える。現状でよいところを評価する。また来月の一步の会をイメージして日常を送る。(次回の一步の会を意識する効果がある。)

本人の自己理解が深まり、それが支援を受けながら、少しずつ社会に合わせられるようになったとしても本質的な部分は一生変わらず、いつでも困る可能性がある。それを踏まえて、自分の無理のない範囲で、信頼できる方に相談しながら、健康第一で生活する。

その中でさまざまな条件等を情報収集し、二択、二択を考えて作戦をたてる。その作戦は、子ども自身がいろいろな人に助けられながら、困ったら相談し、助けられるという経験を積みながら生活していけることを目標とする、というのが一步の会に参加して思う感想です。

ありがとうございます。